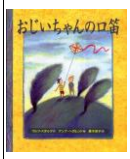
心をうつ感動絵本リスト

命のこと、我が子のこと、大切なペットのこと…。大事な何かを感じさせてくれる新旧の絵本をピックアップしました。

荒尾市立図書館ブックリスト　No.56
「心をうつ感動絵本」　2026.11月

No		
1		**ちいさなあなたへ** わたしのちいさなあかちゃんは、いつのまにやらこどもになり、おおきくなっていえを出ていく…。わたしのいとしいこ。すべてのおかあさんとそのこどもたちにささげる愛の絵本です。 ①アリスン・マギー ②主婦の友社 ③E9 マキ ④2008 ⑤20028302
2		**おくりものはナンニモナイ** ムーチはだいすきなアールに何か贈り物をしようと考えました。でもアールはなんでも持っています。ベッドも、ガムも…。ともだちを喜ばせるものっていったい何だろう？さて、ムーチが思いついたギフトとは…？ ①パトリック・マクドネル ②あすなろ書房 ③E9 マク ④2005 ⑤20023354
3		**おじいちゃんの口笛** ぼくのようにおじいちゃんがほしくなったベッラのために、ぼくたちは老人ホームへ。ここにはたくさんのおじいさんがいるから、きっと誰かがおじいちゃんになってくれるはず。にわか仕立ての祖父と孫の誕生です！ ①ウルフ・スタルク ②ほるぷ出版 ③E9 スタ ④1995 ⑤20037583
4		**悲しみのゴリラ** 「いつになったらかなしくなくなるの？」母を亡くした少年にやさしいゴリラがそっと寄り添います。「ママがずっといっしょにいるとわかったときだよ」。大事な人を亡くしたときにひらいてほしい絵本です。 ①ジャッキー・アズーア・クレイマー ②クレヨンハウス ③E9 アス ④2020 ⑤20044924
5		**ずーっとずっとだいすきだよ** 犬のエルフィーとぼくはずっといっしょだった。まいにちいっしょに遊んだ。でも、エルフィーはいつしか年をとってしまって…。 ①ハンス・ヴィルヘルム ②評論社 ③E9 ハン ④1988 ⑤20023252
6		**てつぞうはね** あばれねこでおもくてかめが苦手で…。夏の暑い日も、雷の日も、桜の咲く季節もてつぞうと過ごした思い出があちこちに。淡々とした描写と鮮やかな色使いが美しい、静かに胸をうつ作品です。 ①ミロコマチコ ②ブロンズ新社 ③E9 ミロ ④2013 ⑤20034537
7		**わすれていいから** 「ーそういえば、はじめておれがここにきたとき…おまえいたよな。」先に大きくなるおれはおまえの成長をずっと見てきた—。やがて自分の世界ができて、いなくなった少年を思う猫の目線のものがたりです。 ①大森 裕子 ②KADOKAWA ③E9 オオ ④2024 ⑤20053499
8		**ねぬ** ねこでもいぬでもない「ねぬ」。ええねん。わし、ともだちなんかいらんもん。そんなねぬに、ある出会いが—。見た目や考え方の違いをみとめるとあたたかい仲間が生まれます。 ①こしだ ミカ ②架空社 ③E9 コシ ④2014 ⑤20034719
9		**いまからともだち** 転校で新しい学校にやってきた主人公の女の子。前の学校にはお友だちが1人もいなかったのに、クラスのみんなはとっても親切でやさしくって…。とまどいが安心に変わる心理描写がリアルな作品です。 ①くすのき しげのり ②東洋館出版社 ③E9 クス ④2018 ⑤20039599
10		**ぼくは犬や** ボスママのおかあちゃんから生まれた「グスリ」。お父ちゃん、おばあちゃん、ドンドンという家族ができましたが、子どものドンドンはすぐ泣くし、おねしょもするし…。「ぼくがずっとめんどうみたらなあかんか」。犬の目線から語られるあたたかい日常です。 ①ペク・ヒナ ②ブロンズ新社 ③E9 ヘク ④2020 ⑤20045127

No		
11		**おもいで星がかがやくとき** 「ピナの大切なひとは、お星さまになったんだって」。ネズミのピナはいなくなった大切な人を探しに行くことにしました。でも、海にも水辺にも、一緒にあそんだ花畑にもいません。悲しみを抱えたピナに届いた言葉は…？ ①利根 里衣 ②NHK出版 ③E9 トネ ④2017 ⑤20051470
12		**チャーちゃん** 死んでも生きても、ぼくはぼくだからね。亡くなった猫のチャーちゃんは今どうしているのでしょうか。走っています。遊んでいます。踊っています。パパとママだって、こっちに来るんだから。いつかまた逢う日のために、チャーちゃんは幸せに過ごしているのです。 ①保坂 和志 ②福音館書店 ③E9 ホサ ④2015 ⑤20036038
13		**くまとやまねこ** 悲しみのふちにいるくまのため、やまねこはバイオリンをひきます。その音楽を聞きながら、くまはことりと過ごしたいろいろな日々を思い出すのでした。別れの悲しみを癒してくれる作品です。 ①湯本 香樹実 ②河出書房新社 ③E9 ユモ ④2008 ⑤20028914
14		**よだかの星** みにくい姿をしているためにいろいろな鳥から嫌われて悪口を言われるよだか。よだかの願いは空のお日さまやお星さまのところに行くことです。他の命を食べて生きる生き物の心の動きや後悔が丁寧に描かれる宮沢賢治作品。 ①宮沢 賢治 ②講談社 ③E9 ミヤ ④1986 ⑤20042435
15		**ひとりの正月** 母が死んで1人になった捨吉はまだ11歳。長者館で出会った少女は自分と同じ「ステ」という名前でした。二人の名前にはある意味がこめられていて…。いなくなった人の想いや気持ちが生きていることを感じさせてくれるものがたりです。 ①斎藤 隆介 ②佼成出版社 ③E9 サイ ④1979 ⑤20004457
16		**おぼえていろよおおきな木** 小鳥がとまって鳴いたり、洗濯ものが乾かなかったり…おじさんは家のそばの「おおきな木」をいまいましく思っています。そこでとうとう木をきりたおしてしまいました。『100万回生きたねこ』の作者がおくるこの本に託したメッセージとは…？ ①佐野 洋子 ②講談社 ③E9 サノ ④1992 ⑤20028937
17		**ちょっとだけ** 牛乳をコップに入れたり、パジャマに着替えてみたり。赤ちゃんがいるので、お姉ちゃんのなっちゃんは“ちょっとだけ”ママの手を借りずにいろんなことを成功させていきます。きょうだいが生まれた子どもの心が描かれた作品。 ①瀧村 有子 ②福音館書店 ③E9 タキ ④2007 ⑤20037592
18		**おじいちゃんがおばけになったわけ** 大好きな「じいじ」が亡くなり悲しみにくれるエリック。するとその夜おばけになったじいじがやってきました。「この世にわすれものがあると人はおばけになる」。二人はこの日から毎晩わすれものを探しに行くのでした。 ①キム・フォップス・オーカソン ②大日本図書 ③E9　オカ ④2005 ⑤20015707
19		**チビ、にげろ！８ぴきのだいだっそう** 親がいない動物たちが閉じこめられているおりの中。こいぬのチビだけ、お母さんがいました。おりの中のみんなはなんとかしてチビをにがそうと計画をたてます。８ぴきの大脱走がスタートしました…。 ①はせがわ ゆうじ ②中央公論新社 ③E9 ハセ ④2024 ⑤20059332
20		**おばあさんのしんぶん** 戦争がようやく終わり、新聞配達を始めたてつお。配達先で仲良くなったみはらさんのところで読み終わった新聞を読ませてもらう日々でした。元出雲市長の岩國哲人氏の戦後の思い出から生まれたあたたかい作品。 ①松本 春野 ②講談社 ③E9 マツ ④2015 ⑤20038829

①著者②出版社③請求記号④出版年⑤資料番号